

本事業のコンソーシアム紹介

◆ 一般財団法人 沖縄 IT イノベーション戦略センター

「ITイノベーションを活用し、サービス・産業を沖縄で共創する」
私たちは、ITがもたらすイノベーションを、沖縄の強み・特色産業である観光業、物流業、製造業、農業、金融業など各産業分野へ応用し、産業全体の振興を図るとともに、実証事業や事業マッチングを通じて得た新ビジネス、新サービスの全国、全世界への展開を目指します。

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅 2 丁目 3-6 那覇市 IT 創造館 4 階
TEL 098-953-8154 <https://isc-okinawa.org/>

◆ NPO 法人 IT コーディネータ沖縄

主に経済産業省の推進資格である ITC 資格保有者によって構成される「IT と経営を結びつける IT 経営」のコンサルタント団体です。県内企業の IT 活用の推進と労働生産性の向上を目指して、IT と経営に係る勉強会やセミナーの開催、コンサルティングサービスを提供しています。沖縄県は多くの産業において労働生産性が全国平均を下回っており、IT 活用についても遅れを取っています。当法人では、今回の事業で得られた成果を日ごろの活動においても継続的に活用し、県内企業の IT 経営の推進に努めてまいります。

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 1 丁目 1-1 パレットくもじ 9F
TEL 098-987-6827 <https://www.itc-okinawa.jp/>

◆ 沖縄県中小企業家同友会

沖縄県中小企業家同友会は「自主・民主・連帯」の精神で沖縄県の中小企業にとって有益となる多くの活動を行っています。活動の 1 つとして、事業者の皆様が「IT 経営を強力な武器として当たり前に使こなせることができる」を目指して「IT 経営の実態調査」なども行ってきました。事業者によって経営環境は様々です。今回、コンソーシアムとして事業に参画でき、そしてアンケート等を通して今回得ることができた情報は沖縄県独自の貴重な経済情報であるとも認識しており今後このデータを活かし、沖縄県の事業者の皆様へ還元できるような取り組みを続けていこうと考えております。

〒901-0152 沖縄県那覇市字小塚 1831-1 沖縄産業支援センター 603 号
TEL 098-859-6205 <https://www.okinawa.doyu.jp/>



お問い合わせ

沖縄県 商工労働部 中小企業支援課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2-2
TEL 098-866-2343

一般財団法人 沖縄 IT イノベーション戦略センター (ISCO)
〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅 2 丁目 3-6 (那覇市 IT 創造館 4F)
TEL 098-953-8154 smbz@isc-okinawa.org

令和 2 年度 小規模事業者等 IT 導入支援事業

導入事例紹介

本パンフレットでは、対象企業がどのような背景で IT 技術を導入し、抱えていた課題にアプローチしたのかをご紹介します。

事業概要

本事業は、県内企業の 99% 以上を占める小規模事業者等を含む中小企業の労働生産性の向上を図ることを目的に、県内中小企業・小規模事業者へ「小規模事業者等 IT 導入支援事業補助金」を交付し、クラウドサービスやソフトウェア等の導入の補助や、IT 化に関するハンズオン支援を通して、県内企業の IT 化を推進しました。

補助金概要

補助対象者	沖縄県内に主たる事業所を有する中小企業及び、小規模事業者等
補助対象期間	交付決定日 ~ 令和 3 年 2 月 28 日(日)まで
補助対象経費	① IT ツールの導入に要する経費 ソフトウェア・クラウド利用費・その他知事が必要と認める経費 ② IT ツールの導入・活用の支援を受けるための経費 人件費・旅費・会議費・謝金・備品費・借料及び賃料・消耗品費・広報費・外注費・印刷製本費・補助員人件費・その他知事が必要と認める経費

小規模事業者等 IT 導入支援事業受託コンソーシアム



ソリューション部 取締役部長
島袋 葉子氏

導入したツール：kintone
<https://kintone.cybozu.co.jp/>

①導入の背景

弊社はBtoB向けの人材紹介や研修を主に、担当者が各自独立して進めている案件が多く、結果、社内全体の動きを把握しづらいという課題を抱えていました。各担当者が抱えている案件やボリューム、顧客情報や要望等を円滑に社内でも共有したいと考えていました。

②導入の流れ

2019年秋頃から社内の情報整理を行いました。コロナ禍の状況が逆に背中を押し、今回の事業で社内情報のIT化に踏み切りました。導入したkintoneでは、まずは「顧客管理と営業支援」の2点に絞って情報を整理していきました。

③得られた効果

誰がどの案件を担当し、クロージングに向けてどの段階にいるのかを可視化、案件ごとに顧客企業への担当者が変わっても、弊社が今までどんなアプローチをしてきたのか一目でわかるようになりました。報告作業も簡素化され、戦略に費やす時間ができたことも成果の一つです。弊社をモデルケースに、今後はグループ会社の業務改善にも生かしていきたいです。



代表取締役 高江洲 若菜氏

導入したツール：スマレジ
<https://smaregijp/>

①導入の背景

以前から使用していた自社オリジナルの管理システムは、POSレジと経理・財務などを連動することができず、使いづらさを感じていました。PCデータに打ち込む時間も確保しなくてはならず、もっと効率化し、浮いた時間を生産にあてたいと考えていました。

②導入の流れ

既存システムのリリース終了までにどのシステムを導入するか検討しており、スマレジが良いのではと考えていたところ、コロナ禍の中で本事業を知り、導入しました。この状況でなければ、今まで忙しくて手がつけられなかった商品の細分化、情報登録の時間を確保できなかったかもしれません。

③得られた効果

今まで棚卸し時に数が合わないなどの不備が発生した場合、人の記憶に頼ったり原因を探るために時間を要していましたが、その必要がなくなりました。発注管理と生産管理も行えるため、ロスやミスの発生を最小限に抑えることができ、生産性も高まりました。また整理した商品情報はECにも活用できそうなので、今後の販売戦略にも役立てて行こうと思います。



製造部 試験室長 山崎 啓貴氏

導入したツール：
Microsoft® Power Apps
<https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/>

①導入の背景

弊社では、2024年を目標に、大企業に負けない社員満足度の向上のために働き方改革に取り組んでいます。そのためには、機械の点検や日報等、日常のルーティンワークの効率化が必要だと考えていました。またスピードをあげて変化する時代に対応できるよう、早急にIT技術を業務に取り入れていき、自動化できるものは推進していきたいという思いがありました。

②導入の流れ

関連会社であるネスト沖縄㈱及びアーティサン㈱と協力し、使い慣れているマイクロソフトのアプリを導入しました。今までエクセルに打ち込んでいた業務を現場でスマホを操作して完了できるようにするなど、既存の業務に合わせてカスタマイズしていき、デスクワークの簡略化を進めました。

③得られた効果

業務の効率化はもちろんですが、今後ITやAIを取り入れオートメーション化を推し進めていくための、社内の受け入れ体制が前進したことも効果の一つです。時間に余裕ができた分、イノベーションやクリエイティブな仕事にも挑戦していき、会社の成長と社員の幸せのため励んでいきます。



専務取締役 古郡 優樹氏
ふるこじゅー

導入したツール：OKABAN
<https://okaban.work/>

①導入の背景

弊社はマリンレジャーのサービスを展開しており、毎年オンシーズンには多数のお客様からご予約をいただいております。予約管理の際は常に電話対応と手書きメモをPCに打ち込み、それぞれスタッフに共有していました。その作業に時間がかかること、またリピーターの方をスタッフが把握できないこともあったため、顧客とのコミュニケーションが不足していると感じていました。

②導入の流れ

「OKABAN」はマリンレジャーに特化したシステムで、導入した時の検証がスムーズでした。コロナで観光業は大打撃、もちろん弊社の売上も激減しましたが、この機会にサービスの整備を行い、備えることが大切だと考えました。

③得られた効果

顧客管理やスタッフ間の共有がスムーズになり、デスク作業の時間を削減できました。その分、より付加価値を高めるためのサービス開発や、リピーター特典などの顧客満足度を上げるアクションを行うことが可能になりました。ITで効率化した分、より安全で楽しいアクティビティをこれからも提供するための努力を続けていきます。



代表者 管理薬剤師 新垣 梓氏

導入したツール：AmiVoice® Ex7
<http://medical.amivoice.com/>

①導入の背景

両親が創業、2018年に事業承継をしました。調剤薬局では、患者様の薬歴等をデータ化して管理しますが、PCに打ち込む作業に時間がかかっており、業務時間外に持ち越してしまうことも度々ありました。患者様への店舗や在宅での訪問服薬指導など、「顔の見える薬剤師業務」への時間を確保するためにも薬剤師のバックヤード業務の負担を減らし、効率化を推し進める必要性を感じていました。

②導入の流れ

以前より保有していた、音声入力システム「Amivoice」を2台追加することで、業務が大幅に効率化されると考えていました。本事業を知り、すぐに応募、事業期間中はコンソーシアムの皆さんに支援いただき、導入までスムーズに進めることができました。

③得られた効果

日常のデータ入力業務を効率化したことは、スタッフの負担を軽減できただけでなく、今後増員する際にも強みになると感じています。オンラインでの服薬指導など、薬剤師の業界もIT化が進んでいます。今後も地域のかかりつけ薬局として貢献できるよう、時代の変化に対応し、より良いサービスを利用者にお届けしていきたいと思っています。



代表 税理士 藤原 亮氏

導入したツール：winautomation
<https://www.winautomation.com/> (英語版)

①導入の背景

弊所が担当している顧客は140社以上あり、毎月の経理・会計業務、また決算時や年度末の繁忙期には所員にも負担をかけていました。日々繰り返す入力業務の中ではエクセルのコピーミス等のヒューマンエラーもあり、精度を高く業務を効率化することが必須だと考えていましたが、専任者が居らず、なかなか取り組みが進められませんでした。

②導入の流れ

本事業に関しては、担当しているお客様から情報をいただいて知りました。導入の前に、タイミングよくITスキルの高い社員が入ってきましたので、専任して業務のオートメーション化を進めてもらいました。

③得られた効果

今回、社内業務をIT化したことで、より「人ができる仕事」を強化していきたいと考えています。税理士業界はクラウド会計ソフトの浸透もあり、ただ数字を整理するだけではこの先続かないという危機感がありました。今後は税理士としての枠にとらわれることなく、付加価値のあるサービスを生み出すことで報酬単価を上げ、社員にも還元していきたいと思っています。

